飯田報たつおか

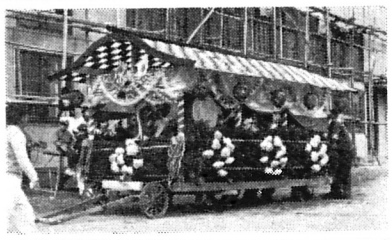
発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報部
印刷所
信州印刷株式会社
松本市巾上電②5686

竜丘文化祭

学校百年祭 民俗芸能披露

○…昭和四七年度竜丘文化祭が竜丘学校百年記念式典を兼ねて去る十一月三日・二四日と…○
○…小学校を会場にして開催された。…○
○…ほとんどの教室と校庭、記念館を使っての展示・豆剣士を集めた剣道大会・十数年ぶり…○
○…に姿を見せた獅子舞、屋台が多くの人々の注目を集めた。…○
○…又、当初より計画されてきた竜丘学校百年記念式典が挙行された。…○
○…今年の文化祭は今までになく盛大で多彩な行事、出品と竜丘の文化の全てが集った祭典…○
○…となった。多くの見学者の注目をあびたものの中でいくつかとり出してみたので思い出…○
○…しながら、今後の話題にしてほしいと思う。…○

※竜丘学校百年記念
竜丘に学制が始ってから百年に当る記念として催された。記念事業として小学校の校歌が、作詞穀田義雄、作曲松本民之助によってつくられ、両氏出席の中で発表され、小学校へ贈られた。式典のあと、会費制による祝宴が開かれ、多数の人達が参加し、思い出を語り、教育について論じながら、過去百年の歩みの中で誤りのあった教育を反省し、民主的な教育を守り育てることの大切さを話し合う様子が見られた。記念事業の一つである「学校百年の歩み」小冊子の発行は現在編集が続けられています。



※鈴岡協華団の屋台
鈴岡協華団が一ケ月の猛練習をして十八年ぶりに再現した駄科北平に残されているもの、屋台を作ったのはさかのぼって明治四五年鈴岡公園開きの際岩崎伝一さんの義父故岩崎亀太郎氏の手によって製作されたものです。大太鼓、小太鼓、大皮、ツツミ、三味線、横笛で囃しながらかわいい子供達を含めて約二千人の人達が北平の心意気を披露してくれました。グループ発表の時には屋台囃子「曲 松上のツル・松ケ枝・春道・仙峡」「踊 奴さん・カツボレ・越後獅子」を優雅に伝統をこめて演じて、大きな拍手をあびていました。
今後、保存会を組織し、春の諏訪社の祭、公園のつつじまつりにくり出して、更に新しい曲、踊を覚えるなどして郷土芸能を発展させていこうと張切っています。

※南平の獅子
駄科南平に伝わるものでこれはかなり大きくて、体長もある。南平の獅子は言わゆる阿島系統の獅子で祭りに使われるものである駄科にはこの外に寺下と下平に獅子があり、いずれも復活の話が出ており、駄科の郷土芸能は一度に花が咲いたようである。獅子の話は別の機会に紹介したいと思う。

※郷土文化財として出品された上川路、桐林の人形
◎桐林の人形
専養庵の郷倉に保存されているもので一八〇年以前のものと言われる。人形と言えば今田人形が有名であるが、これは芝居の方で有名になっているもので人形自体から言えば桐林の人形は早大の杉野教授の調査によっても日本で最も優れた人形頭の一群であると言う五十個のこの頭、衣裳も実に保存が良い。同一時代のものと言われよく見るとつくりが大体同じであり、頭の植毛も実にきれいに残っている。芝居はいつまで続いたか全くわからず、現在残念ながら便える人はいないと言う。
ともあれ、折り紙付きのこの貴重な文化財をいつまでも大切に保存してほしいと願う。
◎上川路の人形。
集会所の土蔵にしまわれていたものである。頭だけで約四十個余あり桐林の人形と異って頭は全部書いたものばかりである。
老人からの話では明治初年頃までは盛んに人形芝居がやられたと言う。蔵の中には明治十五年「演劇興行御願」の古文書もあり、上川路のかつて盛んだった頃を忍ばせる。
※この他にも、青年団の演劇発表詩吟、民謡クラブ等各サークルの発表会が行なわれました。
これを機会に、古来から伝わる伝統芸能、文化財を守り、発展させたいものです。

桐林 お稲荷坂工事中

一般農道改良工事の一環として国、県、市、地元負担により行なわれている桐林の小池農道の改良工事もこの三月末完成の予定です。
この工事は、初め県の補助事業として申請したが認められず、急傾斜農道改良工事として申請した福祉面では外国に比らべ、かなり遅れていると言う。国民生産は世界一だという。国民生産と言うものは一位にならなくても福祉面で一位となる様な日本にしてほしいものだ。このような状態にしていった大人達の選挙に対する無責任だった行動、また二十才代の有権者の選挙拒否、これからの国を担う者の行動など、反省する点があると思う。僕にはまだ選挙権がないが今度の市議選には、二十才になった大人のひとりとして臨みこれからの社会を担う若者として物事を主観的に考えず、つねに前向きの姿勢で自分の考えをはっきりと言える様な意志の強い人間になりたい。

（駄科 牧島修正）

青年の主張

僕の選挙権

僕達二十才の者から見る大人はこの間の市長選をみても、総選挙の時をみても、自分の意志で、選挙に望んでいる人が少ないように思われてしかたがない。今度立候補した人の身内だとか、近所の人なのでとか、会社であの人をおしているのでしかたなくというような縁故関係で結ばれ、真の選挙のあり方からかけはなれ選挙に臨んだ一部の人を見た。
現在日本において重要な問題は数知れないほどある。日本列島改造論一つをみてもそうだ、日本列島改造論とは、新全国総合開発計画というのを今まで実施して来ているがこれは、石油コンビナート一帯の工業開発をして来たが、その場所が次第に少なくなってきた為に、これを一気に日本全国に分散して太平洋沿岸の工場、あるいは工業地帯に片寄っていた工業生産の比重を、引き下げ工場の少なかった地方へ工業生産の比重を高くしようと言う構想らしい。この事によって、全国に公害を訴える人が七十パーセントにもなり、地価の高騰を招き、工場用水に使用される水不足を訴えゴミ公害のプラスチックもクローズアップされた生産拡大を抽象的に考えたもので、国民を無視したものだと思うまた他にも考えなくてはならない問題は、山ほどある。真の沖縄返還、まだ核も米軍基地もある、この間の米戦車輸送、横須賀の米海軍の軍港化等の日米安保がどれだけ日本のためになるのか、物価高騰で国民の為ではなく大企業を優先しているであろう。更にもう一つは、一九七〇年の国民総生産七三兆円に対し十二年後の一九八五年には、約四倍の三〇四兆円と見込む計画が大きすぎ国民の負担は、絶大なものだと思う。田中総理の発想は国民の為ではなく大企業を優先した行動、また二十才代の有権者の選挙拒否、これからの国を担う者の行動など、反省する点があると思う。僕にはまだ選挙権がないが今度の市議選には、二十才になった大人のひとりとして臨みこれからの社会を担う若者として物事を主観的に考えず、つねに前向きの姿勢で自分の考えをはっきりと言える様な意志の強い人間になりたい。

（駄科 牧島修正）

商栄会の水銀灯完成

高台から見おろすと、点々と続く水銀灯が、夜の竜丘を静かに包んでいる。
駄科駅前から旧国道やバイパスを主として、発起、農協付近にも十一月下旬、水銀灯が完成し、先に出きあがっていた時又のそれと共に、竜丘を明るくしている。
この水銀灯は、明るい街づくりひいては、地区の発展に結びつける為にと、昨年の十月、上田の賛光電気さんによって、工事に入っていたものです。初めは、駄科だけで三十余という話が、地区民の理解、気持ちが一つになってもりあがり、桐林地区にも拡がり、総数六十二灯。二十Wと六十Wのふたつの灯をもつ、りっぱなものになった。一灯についての総費用が三万八千円。総工費二百三十五万六千円は、市の補助を受けるべく申請中とのこと。
工事については、無理なお願いをしたにもかかわらず、早く仕上げて下さり、また、完成後の位置の変更は快く引受けてくれるし、広告灯の商店名はサービスで入れて下さる。など関係の方々は、大変喜んでおられる。
一方、夜道をゆく人々にも、「明るくて大変良い。」「ありがたいことだ。」と、評判が良い。
出きあがってから三ケ月近く、破損も故障もありませんが一年間は、賛光電気さんで保証してくれることになっている地区民の願いをこめたこの水銀灯が、賛光電気さんの手を煩わすことなく、いつまでも大切に扱われることを、そして人々の心の中をも、照らし続けることを祈ろう。

随想リレー（93回）

昔の『オンベ』

時又 下田勝

学校が年末の休みに入ると、オンベの大将が決る。大将は高等科二年生で、大将格の家は宿と言って、暮からオンベの焼かれる七日の朝まで、拾数名の小学生に限られる仲間の集合場所となる。昼は山へ行って枯モヤなど集め歩き、夜は宿で飾付に使うカンゾヨリをよりながら、先輩達の話を楽しみに聞いた。こんな時期は嬉しくて嬉しくて、すべてをオンベに集中して居た。大晦日になると各家庭に寄付に廻り（一戸で五銭から十五銭位だったと記憶する）合計二円も集った年は、景気の良い年だったと言い合った。小学三年生になると、二日早朝オンベ用品の買初めに、飯田まで歩いて連れて行ってもらえるのが一番楽しみでした。田舎の小学生が見る町の風景と、まして初売の騒々しさには目を見はる事はかりでした。
一帖の障子紙を使い、十米以上もある真直な青竹の頂上に飾るへイソクは見事なものでした。日の丸の旗や、紙風船、千鳥の折紙など色彩豊かなオンベが、宿の前畑に立上る。当夜から七日の朝まで仲間と一緒に寝泊りし、オンベの番をする。宿でカルタやスゴロク花合せにトランプで遊んだ楽しさと、オシルコや五目飯の御馳走を競って食べた事は、懐かしい一味である。
六日は各家庭ほとんどが朝年を取った。そのあと集め合った松飾り、福縄等と、前記集め置いた枯モヤとでオンベを太く巻き上げる。この夜こそ他地区よりの切り込を守るため不寝番をしたものでした。七日の朝は、夜明けを待てすホンヤリの唄（ホーホ、ホーホ、ホンヤリホーホ、ホンヤリ様馬鹿で出雲の神に呼ばれて、アートで、焼かれた）で部落中ふれ廻り、数拾人集る中で長老の点火により、明け切らぬ空をもこがす炎と、煙と青竹の割れる音と共に、頂上のへイソクに火の付くクライマックスには、手を拍って歓声を上げたものでした。やがて中心の竹は歳徳の方（アキノ方）に倒される。餅を焼きながら書初の一枚をもやし習字の上達を願ったり、オンベの火に温まると風邪にかからぬとか、炭をぬると発毛促進になるとか、焼いた餅を七草粥に入れて食べると家内無病など、長老の語らいを聞いたものでした。朝日が東の山に上るとオンベも終った。
最近各地でオンベが復活されつつある様に見られる。良し悪しはとも角、現代っ子に笑われそうですが、他にもある素朴な行事と言い伝えを、記録に残したいと思いつつ、振り返って見ると、私も四十五才になって居た。

（モデルは長野原下オンベによる）

駐在所だより

大沢兼光巡査
私は、昨年十一月の移動により時又駐在所へ参りました。大沢兼光です。
ここ竜丘地区は、世帯数、人口共に、年々増加している現状の中で、この地にこられたという事は心から喜んでおります。
私は、まったく微力ではありますが、皆さんが何の事故等もなく平穏に暮らせる事ができるよう、全力を尽くしてゆく覚悟であります。しかし、何の事故もなく、平穏に暮らせるという事は、なかなかむずかしいものであり、私ひとりが逆立ちしてみても、どうなるものではありません。地域住民皆さんのひとりひとりの御協力により、この竜丘地区から、犯罪等を追放する事が出来るのです。また最近の犯罪傾向は、昔の小区域から、車等を利用しての広域化となって、一度発生すればなかなか解決までに時間がかかる状況であります。
私は、このような時点に於いて犯罪を未然に防ぐという事に、力を入れてまいりたいと思いますので、どうか皆さん方の御協力を御願い致します。

公民館だより

〔体育委員会〕
◎卓球大会のお知らせ
二月十一日（竜丘小）分館対抗大会。
優勝者市大会へ
二月二十五日（飯田高）地区対抗大会
〔他団体の動き〕
◎青年会主催〝竜丘青年の集い〟は二月二十四日・二十五日の二日間一泊の研修会を行う。
◎睦会では「年中行事について」の講演会、生活、健康についてアンケート調査、結果を手治阿南病院長に講評していただく予定。

消防団新人事

◎分団長 関島東洋雄 ◎副分団長 橋爪寿 ◎庶務部長 下平正之 ◎消防部長 下平賢治 ◎警護部長 中島信義 ◎責任班長 ・駄科 久保田功 ・桐林 中島昇 ・時又 松沢敏彦 ・上川路金子利雄 ・長野原 山田昌弘 ◎機関班長 ・駄科 下平久雄 一ノ瀬清 ・桐林 原成行 大倉剛 ・時又 杉本勝吉 ・上川路木下武 ・長野原 山田昌弘 ◎ラッパ班長 牧島茂行 ◎庶務救護班長 塚平三郎 ◎警護班長 大見新一
昨年十二月人事更迭と共に四十八年度の消防活動がスタートしました。幸いにこと一年、竜丘では無火災が続いています。消防団のみならず、地区民誰れもが予防消防に、一層の御努力をお願いします

ヤブ蚊

明けまして、おめでとうございます……。今年はウシ年、ウシの歩みのごとくのんびりいこうと思うが、そうはいかないのが現実、おとそ気分も抜け忙しい毎日、その忙しさにまぎれ、知らされずにいかれてはこまるものもある。
★「竜丘地区の自治協議会は何をやるのかわからない。無理もない事で自治会は地区のお偉い方で何やら決めているようで一般地区民には全くわからない、問題が山積されてるはずなのに……」と昨年、館報のヤブ蚊がチクリとさしたが皮が厚いのか痛くもかゆくもない様子。
☆天竜川や新川の水がきれいだったのは昔の話、今は小川まで汚されきっている。農業用水として竜西一貫水路が出来て七、八年地区の隅すみまで行きわたっている。この恩恵は大きいが、今は弊害も無いわけではない。多すぎる水に水路がいたみ水があふれ出て田畑がしける。又汚れた水、川底には水アカが溜りきたない。当地区には完全な水道施設が遅れている。簡易水道が多いだけにこのままいけば地下水まで汚染される心配がある。
★昨年十二月に新しい自治協議会員二十名が選出された。又今まで自治会にはなかった新規約も作られたが、なんら一般には知らされていない。協議費の納付書と会計報告がお目にかかるだけ、自治会はベールに包まれている。もっと明朗化してほしいものだ！と云うのが一般地区民の声、今年こそ新しい協議会規約も出来たことだし事業計画、予算計画など身近に感じる自治会にしてほしい。
☆八十二銀行時又支店が廃止され地元竜峡地区に残された基金も預金されて眠ったまま、物価は上り金利は下がる一方、早くなんとかしないとには……。
竜江・千代など竜峡地区に呼びかけ、さらに市に働きかけて、市の竜峡地区文化会館（仮称）建設が行なわる事を希望し、竜丘公民館新設の動きと同一歩調がとれないものだろうか。学習室や調理室さらに大集会室などの要求が叫ばれている折柄、新自治協のメンバーに期待します。

新春放談会

公民館新築の声強し
自治協の民主化を要望

竜丘公民館主催の新春放談会は一月十四日午後一時より各種団体代表者をはじめ市議など三十数名が参加し、竜丘公民館（支所二階）で行なわれました。又竜丘地区の取り組みに先立って一月十日には、時又公民館で新春放談会が区民三十名程の参加者を集めて行なわれました。両方の放談会も地区民の切実な問題が提起され、ことに独立公民館を要求する声が団体代表者の間で出されました。

当日参加された婦会・老人会からは、竜丘公民館の早期新築を要望する議題が出され、料理実習からお茶・生花の学習の出来る設備を望む声は参加者の同意を得た。その新築に当り、地区民の要求実現への取り組みが自治協へ要望され具体的には現在の支所の一部に併設が考えられているようでもあった。

幼児を持つ親の願いとして保育行政に対する要求が出された。竜丘保育園の定員の増員を要求する声は市立と私立との格差にもおよぶ大きな問題の一つです。

小児科医を地区内に要求する声も出ていました。

婦人会の代表から組織強化と現状が訴えられましたが、婦人会の果す役割りの再認識なしに組織の拡大は出来ず、役員の指導能力の向上がのぞまれ、公民館として援助する事が話し合われました。

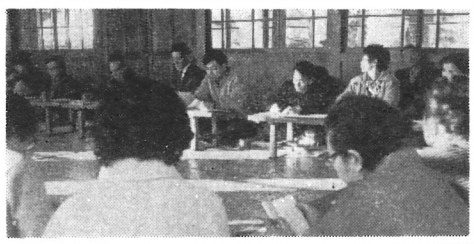
衛生組合では公害問題と一貫水路の汚染から各水源が汚染されていることが訴えられ、水質検査の必要を確認しあいました。

日赤奉仕団・消防団からは現状を団長から報告され、今後一層の活躍を期待し活動を理解しました。

農協からは構造改善事業の推進と農協合併問題の説明があり、農地の基盤整備に駄科・桐林などが計画され、桑園など造成改良として長野原・時又・桐林が計画されている事、養豚団地計画など報告されました。

青年会からは学校施設の開放の要求が問題提起され、小学校体育館の九時までの時間制限の延長を教育委員会・市へ要請する事が話し合われました。

小学校PTAは会長から校舎の早期改築要望が出され自治協をはじめ地区一丸となり運動を推める必要性を確認し合い、暗い教室・スキ間風で寒い教室など具体的な事例を知らせながら運動を展開する事になりました。通学上の交通安全についてもバイパスに歩道の要求がされました。



公民館からは自治協議会の組織運営について問題提起がされ、この一月新しい協議会が地区民と遊離していた事など自治協本来の姿に対する要望が出されて、およそ三時間それぞれの立場で積極的に意見が出され、会議終了後会費制による懇親会が開かれ和やかなうちに終了しました。

自治協改組
会長・河原氏
三十名から二十名に減員

昨年末から新年にかけて、上川路、桐林、駄科区の区議（財産区管理委員を兼任）が改選されました。今回選出された区議の特徴は今までそれぞれバラバラ（二年〜四年）であった任期を統一し、さらに改選時期も歴年度ではなく、四月切替とした事です。これにより、次回からは、各区任期四年、四月切替の新しい方式が定着するようです。任期、改選期を統一した理由は、竜丘地区自治協議会との関連が不自然であったものを、統一するためです。

尚、三地区の区議変更と同時に自治協議会員の構成が変り、新しい役員が選出されました。さらに自治協では規約を改正し、今迄三十名であった委員を二十名に減らし、少数精鋭で運営していくことになりました。

新しく選出された区議、自治協委員は次の通りです。

。上川路区　任期五十年三月迄
区長、金子虎一、副、笹岡秀郎、小室幸充、田中憲一、小室和己、小林和一、杉本金吾

。桐林区　任期五十年三月迄
区長　高島博、副　中島哲、下平禎、中島武雄、林喜代美、中島光男、前島広美

。駄科区　任期五十年三月迄
区長、下平兼司、副　小林俊保、久保田敏治、代田正矩、熊谷政平、関島徳、藤田栄重

。長野原区　四十六年一月選出
区長　下井田勲雄、副　小林常治、今村長穂、前沢利信、中村善作下井田恒茂、佐々木春男

。時又区　四十六年五月選出、この度、河原氏が自治協会長就任により、区長以下役員の一部変更、区長　沖田一郎、河原正吾、下平邦一、楯一郎、伊原文男、土屋男三、山田正平

尚、長野原、時又については、改選期が、他区と同じになるように検討中です。

。竜丘地区自治協議会　任期一年
会長、河原正吾、副会長、北沢小太郎、下平兼司、小林俊保、熊谷政平、高島博、中島哲、中島武雄岡村賢作、原俊治、伊原春男、沖田一郎、高木関、原頼人、下井田勲雄、小林常治、金子虎一、笹岡秀郎、竜丘地区に籍のある市会議員の合計二十名、但し、区会議員の任期と一致させるように検討中です。

楽しかった運動会
時又優勝　応援は桐林

十一月五日は竜丘小学校々庭に於いて、恒例竜丘地区市民運動会が盛大に挙行された。予定されていた三日が雨天の為二日順延になった当日はうって変って好天気に恵まれ、およそ千二百人の地区民の歓声の渦の中、始終熱のこもった種目がとどこおりなく行われた

校庭南側には、日中国交回復に感謝状を受けられました。

今回の大会では社会環境が急激に変化する中で社会教育体制を改善し充実していこうとする趣旨を揚げ特に

一、住民の学習活動を活発にしよう。

一、社会教育予算の大巾増額と施設、設備の充実を計ろう。

の二つの大会スローガンに基き今后の公民館活動を進める事が確認されました。

ちなんで青年会が製作した高さ数メートルもある大パンダが置かれ大会に華をそえた。又、今回からは応援にも賞が出されるとあって各分館とも趣向をこらした応援合戦を繰りひろげ、一層ムードを盛り上げた。最優秀賞は桐林分館に与えられ金一封を手にした。

過去二年連続優勝している駄科分館が三連覇を狙ったが、わずか一点差で駄科、桐林両分館を抑さえ時又分館が優勝をさらった

又、上川路分館は応援にも新鮮な試みで大会に望み、対抗種目での活躍は目を見張るものがあった

分館対抗種目の成績は次の通り

優勝　時又分館　二八点
準優勝　駄科分館
桐林分館　二七点
四位　上川路分館　二三点
五位　長野原分館　一五点

第10回 市公民館大会開かる
中平博 中島昇 氏に社会功労感謝状

昭和四十七年度第十回飯田市公民館大会が昨年十二月三日飯田文化会館に於て、飯田市公民館の主催により盛大に催された。

当日は市内各公民館の意見発表、「これからの公民館活動のあり方」と題して、東京都国立市公民館長徳永　功先生の記念講演等の他社会教育功労者二十一名の感謝状贈呈も行なわれ竜丘では駄科公民館長中平　博さんと前広報委員長中島　昇さんが功績をたたえられました。

竜丘小学校講堂
モルタル塗り完成

【写真はモルタル塗りで仕上った講堂】

戦争中黒く塗られたままになっていて見ても暗い感じを思い出す。小学校講堂のスレートの壁も、野球等のボールがあたり破損し、又そこにすすめが数拾羽も巣を造り見た目も悪くなって来、市の教育委員会へ改装の申請を前年よりして来たそうですが、竜丘学校百年式典までに改装したい希望もあり更に市の建築課まで行ってお願いし改装される運びとなり、市内松尾常盤工業が請負われ九十八万五千円かかり、講堂の東側と南側、白色のモルタル吹付で学校百年記念式典までに完成の予定で作業が進められて来ましたが、天候の関係で間に合わず、これから何十年も使用しなくてわならない為時間をかけて丁寧に塗ってもらい十二月十三日検査を終えきれいに改装されました。老朽化して来ている学校を少しでも良い環境で学ばせたい、と先生を始め地域の人達や生徒が望んでいた悩みが一つ解決されました。又北側の壁、床下通風窓に金具をつける作業は、来年度出来る予定との事です。又、プール入口横の庭にこの度出来た校歌。

【完成した校歌の碑】

一、桑の葉のみどりが燃えて
伊那谷の土のゆたけさ……

と書かれた校歌の碑が沖田石材店主、沖田房三氏から、創業百年記念にと学校へ寄贈されました。又時又出身で春日井市で彫金師をしている後藤正二氏が開校百年祭に尋常小学校大正八年入学生一同の名前で彫金で出来た額「ルーブル美術館の羽根突きライオン」時価八十万円が、寄贈されました。

広報委・青年会との座談会から
成人おめでとう

十二月十一日、竜丘図書館において、公民館、広報委員会の主催で、青年会員及び、新成人者との座談会が、成人該当者約20名を対象に、出席をもとめ、午后七時より、開催された。時節柄忙がしい中、成人者6名をふくむ、青年会員、広報委員を混えて、夜のふけるのを忘れ、楽しく座談会が行なわれた。たまたま衆議員選をふり返りながら、選挙についての結果等を始め、選挙権について、青年の生きがいについて、又青年と青年会、公民館とのつながりについて語り合った、話し合いの内容について少しふれてみると、衆議員選の結果、革新政党が伸びた事について

『現在の政治に不満をもっているんだなあ！』「選挙には関心がない。」と、各人意見は分かれたが、成人の果すべき責任として、関心を、しめす若者が多かった事は、其場の雰囲気であり、環境もあるだろうが「これからは自分の選挙として、選挙をとらえ選挙権を大切にしたいものだ」との意見が出された。生きがいについては、「夢があり、それに向って進んでいます」の言話の裏にはいままで生活をふり返り、親の云う農業の道に、進んだけれど、学校を出ての数年間、

農業の難かしさを感じ、農業を自分の職として歩む時、親との意見の違い、政治から生まれる矛盾、近代化をともなった規模等問題が、多すぎて、農業がいやになり、出稼ぎに出たが、旅での勤めの中にも又、色々な問題、賃銀先輩と自分等、自分の労働が、正当な、価値として認められない事等。

一生懸命、真面目に働けば、大人の人達には要領よくやれ！と言われ、とまどい途方に暮れたと云う、しかし、現在は、自分の家業に専念するこの青年は、新しい仕事を身に付ける為、毎日、若さで張り切り、明日に向っている

言いたい事を云えるような職場であってほしい、古い職場のしきたりに、不合理を感じる。」高校を出た時、夢と希望をもって職についた、あの時の気持と共に、力一パイに生きがいを見い出して歩みたい」と現在の苦しみや、願いを発言した。

青年会と公民館のつながりについて、「公民館とは何んだろう」と真剣に考える青年の多いのには好感がもてた。竜丘文化祭も去った事になったが。青年会で準備した演劇の際、我々の演劇前まで沢山いた、地域の人達が、始じまると、多くの人が席を立ってしまい、ごく一部の方々になってしまった事について、本当に残念であった。この事は、それに当った当事者、青年会員の皆が、地区の人達、公民館に向けて、残念がる気持は、良くわかる。「公民館地区の人達が悪いのではなく、自分達の生活が、忙がしく成っていてゆっくり演劇を見る時間がないのでは……。」の助言もあったもののうなずけない気持であったのは事実だ。20才に成った成人者の気持と、生きがいについて、色々な課題、問題について、語り合い、自分達の社会、明日への希望について明るく住みよい地域にして行きたいものだなあ！

あの人この人

◎伸びよ健やかに

氏名	部落	父名
中島　秀俊	桐林	徳治
中島　茂徳	桐林	徳治
中島　隆明	桐林	徳治
中島　裕美	桐林	昇
島岡　夕子	時又	伸夫
松下　恵子	駄科	博人
塚平　理栄	桐林	三郎
赤羽　邦広	駄科	喜久男
山田　真守	時又	安美
倉沢　広和	駄科	久雄
中島　勉	桐林	信義
中平ひろみ	駄科	金次郎
原　良子	桐林	功
一ノ瀬田佳里	駄科	清
後藤　美鈴	駄科	憲良
吉沢　奏子	時又	俊夫
河井　寿文	時又	正則
斉藤　功一	時又	義登
坂井　利明	時又	利光
小室　正	上川路	安美
今村　友美	時又	公男
関島　徳子	桐林	文次
久保田加恵	駄科	巧
堀内　久栄	時又	雄
鈴木　朱美	駄科	正儀
中村　歩	時又	昭男
松沢　真	時又	敏彦
酒向　宣子	時又	伸幸
岡島　光子	駄科	春男
吉沢奈緒美	駄科	毅
中島　明美	桐林	康
熊谷真由美	時又	勉

◎永遠に幸あれ

清水　健一	泰阜村へ	
山口美代子	時又	

田村三千夫	長沼	好子
田中　敏夫	小林	さち子
武田　俊雄	倉沢	ユキエ
塩沢　芳直	上原	千恵子
三田　善隆	市瀬	孝子
鈴木　正孝	佐伯	京子
大平　武雄	小柳	並子
長谷部　進	塩沢	紀子
椙山　正幸	井出	文子
近藤　直太	林	弘子
中塚　敏久	伊藤	茂代
天田　豊	木下	幸子
後藤　博志	前島	令子
今村　茲康	山崎	順子
矢沢　吉幸	椙植	八重子
小河　兼吉	中平	あけ子
小林　稔	木下ナル	子
河井　洋治	林	由利
清水　平一	平林	雪江
林　義次	森本	睦子

伝馬町より	時又	
上川路	鼎町より	
北海道より	桐林	
駄科	阿智村より	
愛知県より	駄科	
下諏訪町へ	時又	
駄科	川路より	
上川路	山本より	
時又	飯田より	
名古屋へ	桐林	
高森町へ	時又	
浦和市へ	駄科	
上川路	上村より	
時又	南信濃村より	
伊那市へ	時又	
豊川市へ	駄科	
駄科	座光寺より	
時又	伊豆木より	
上川路	上川路より	
桐林	東京へ	

中島	勝	桐林	長野原より
下井田	啓子		
石谷	光博	時又	伊那市より
西村	ナツエ		
今村	正二	時又	高森町より
小川	みつ子		
中島	興八	桐林	喬木村より
中島	初子		
織田	正利	飯島町へ	
関谷	暉子	時又	
海原	修	東京へ	
小林	幸子	長野原	
今村	鉄男	時又	
藤本	恵子	喬木村より	
福沢	正男	松尾へ	
下平久美子		駄科	
村沢	勇	飯田へ	
増田	和子	上川路	
木下	庄司	毛賀へ	
中平	智子	駄科	
尾曽	洋一	下久堅へ	
藤田	孝子	駄科	
佐々木信隆		山本へ	
中島	和子	桐林	
林	和邦	鼎町へ	
野竹	準子	時又	
矢花	久慶	上飯田へ	
野竹	絹子	時又	
内山	利三	飯田へ	
下平	静子	桐林	
平沢	明英	駄科	
古林	志保子	高森町より	
代田	栄作	時又	
林	和子	三穂より	
西村	誠英	熊本県へ	
代田	恵美	時又	
鈴木	文裕	飯田へ	
林	さと	桐林	

●御冥福を祈る

氏名	部落	性別	年令
今村　薫一	時又	男	七六歳
林　薫一	桐林	男	八六
中島　まつ	桐林	女	八七
今村　象雄	上川路	男	六九
福島よしの	時又	女	八四
宮崎ほのゑ	上川路	女	八二
増田　いと	上川路	女	六〇
佐々木さち	桐林	女	七七
新井　ハマ	駄科	女	七〇
伊藤　ツル	上川路	女	七五
井口　寅吉	上川路	男	七六
長谷部素岩	上川路	男	八〇
長沼　武平	時又	男	五八
中田　福	桐林	男	七四
小林寿々子	上川路	女	七七
横井つねよ	上川路	女	九二
下平清太郎	桐林	男	七八
高橋三津平	駄科	男	七八
代田　みほ	時又	女	七九
下平喜佐男	駄科	男	四二
中島　藤恵	桐林	女	六四
中島　あさ	桐林	女	六三